

コゲラ

フレントリ館の観察窓のすぐ外には、自生のシラカシが伐り残してあるので、いろんな小鳥がやって来ます。ときどき撮影を試みるのですが、ちょこまかと動きが速いので、なかなかうまく撮れません。今年の5月下旬にどうにか撮れたのが、右のコゲラです。



コゲラはスズメくらいの小さなキツツキです。ハイヅカ湖周辺には、コゲラ以外にアオゲラ、アカゲラ、オオアカゲラの3種類のキツツキが棲んでいて、これらはヒヨドリ程度の大きさです。

キツツキ類は数が少ないと思われがちですが、のぞみが丘でもしばしば木をたたき音が聞こえますし、立ち枯れの木にはたいてい丸い穴があいています。また、最近の巣箱かけ活動で増えてきたブッポウソウも、もともとは大きめのキツツキ類がほった穴を利用していたのであり、昔はたくさんいたと聞きますので、キツツキ類も昔からけっこうたくさんいたようです。

キツツキ類のなかでも、コゲラは特に数が多いように感じます。冬から早春にかけては、エナガやシジュウカラといっしょに小さな群れをつくって活動するので、みなさんのお宅のお庭にもきっと来ていると思いますよ。